

JOMC との意見交換会を開催

電気製品認証協議会

電気製品認証協議会では昨年度に引き続き、大手ネット販売事業者が加盟するオンラインマーケットプレイス協議会（略称：JOMC）と「製品安全」をテーマに意見交換会を開催しました。意見交換会は2022年11月14日にWEB会議方式のオンラインで開催し、JOMCからは楽天グループ、アマゾンジャパン、au コマース&ライフ、BASE、イーベイの各社及び事務局合わせて15名の皆さん、日本消費者協会から2名、電気製品認証協議会（SCEA）から7名（内、Sマーク認証機関から5名）が参加しました。

近年のコロナ禍の影響もあり、消費者にとって大変便利なネット販売を活用することも増え、社会インフラとして欠かすことのできない存在となっています。

2021年5月に制定された「取引デジタルプラットフォームを利用する消費者の利益の保護に関する法律」が2022年5月から施行開始されたこともあり、デジタルプラットフォーム（ネット商取引用サイト）を運営する事業者はそれぞれ社内規約を整備し、利用される消費者に対するサービス向上とデジタルプラットフォームに出品する販売事業者（出品者）に対する法令順守・出品審査の厳格化に努めています。

意見交換の主な内容として、ネット販売各社から「デジタルプラットフォームとして昨年以降取り組んでいること」「出品審査として現在行っていること、既に出品されている製品のチェック」等についての紹介に対しての質疑応答があり、活発な討議が行われました。

また、日本消費者協会から「危ないサイト、SNSによる製品販売」、消費生活センターからネット販売事業者への電話連絡が困難であった事例が紹介されました。前者については、消費者に対する注意喚起や啓発が重要として、ものの適正価格からかけ離れた（安すぎる）ものは危ないとの見方や、SNSをきっかけとする取引についての課題が共有できました。

いわゆる「危ないサイト」や「SNSでの取引」に関しての注意喚起を、JOMC加盟各社のデジタルプラットフォームからも消費者へ向けて情報発信して欲しいとの意見や、行政を巻き込んだ活動が重要とする意見もあり、大変有意義な意見交換会となりました。

以下、参考

<オンラインマーケットプレイス協議会（JOMC）>

[オンラインマーケットプレイス協議会-JOMC\(Japan Online Marketplace Consortium\)](#)

<電気製品認証協議会（SCEA）>

[電気製品認証協議会（SCEA）（s-ninsho.com）](http://s-ninsho.com)

以 上